

7
ブロック

八雲小学校

「周藤彌兵衛の切通し」見学

八雲町の偉人である周藤彌兵衛。その学びを深めるために、八雲小4年生は切通しを見学し、周藤彌兵衛顕彰会会長の矢野秀行さんから周藤彌兵衛の生き方や偉業について詳しく話を伺いました。子ども達は実際の体験を通して、昔の八雲の町の風景を頭の中でイメージしながら、周藤彌兵衛のしてきたことのすごさを実感することができました。

そして、周藤彌兵衛が代々、八雲の村人のために私財を投げ打って地道に山を切り開いてくれたことに驚き、そのおかげで洪水に見舞われることなく、今の自分たちが安全で安心な生活を送ることができていることに気づくことができました。周藤彌兵衛の熱い思いが多くの人を動かし、思いがあったからこそ「夢」を実現させることができたこの生き方は、これから生きる子ども達の心の支えとなるにちがいありません。(石原秀之)



を 紹 介 し ま す !

8
ブロック

本庄小学校

弁慶生誕の地 本庄を学ぶ

みなさんは弁慶伝説をご存知でしょうか。本庄地区は武蔵坊弁慶の生まれ育った地として語り継がれています。本庄小では、3・4年生のふるさと学習として本庄に伝わる弁慶伝説の勉強をしています。地域の方を講師に招いて、見学バスツアーのガイドや活動のサポートをしていただきます。

赤ちゃんの時に石臼を引きずりながら登ってきた「弁慶越えた坂」、9歳のころ暴れん坊の弁太(後の弁慶)が置き去りにされた、亀のように見える「弁慶島(亀島)」この他にもたくさんの弁慶伝説地を地域の方にお話していただき、見学バスツアーで実際に見に行き、ふるさと本庄の弁慶伝説を身近に感じ学習しています。弁慶伝説をもっと地域の人に知ってもらいたい、ずっと残して伝えていきたい、大切にしてほしいと、子ども達も考えて、学習発表会にてお披露目をしました。地域の方と一緒にふるさと本庄の魅力を学んでいます。(島本淳子)



市P連情報発信

松江市PTA連合会ホームページ
最新の「お知らせ」や「過去のきらりまつえ」
をご覧ください。
<http://www.matsueshi-pta.gr.jp/>



「社会教育団体であるPTA」がめざすウェルビーイング

PTA全国研究大会川崎大会に参加しました。「ウェルビーイング」をテーマに全国から約6,000名が参加。2日間にわたって次々に講演が行われ、その都度周りの他県の方と意見交換をして多様な考え方を理解しより深く考える…という新しいスタイルの大会でした。



ウェルビーイングとは、個人も周りの人もその場も良い状態のこと。学校でいえば、子どもの幸せが、先生・保護者の幸せに繋がり、先生・保護者の余裕が地域や子どもに良い影響を及ぼす。そんな状態のことです。

その実現のために、川崎市子どもの権利条例子ども委員会の提言「まず大人が幸せでください。子どもの幸せのために、親も先生も、まずは大人が幸せであること。我々が自分自身のウェルビーイングを意識し日々実践することが、子ども達はもちろん、社会全体のウェルビーイングに繋がる。その一歩を、今この瞬間から、この会場から踏み出そう、そんな気持ちにさせられる大会でした。(副会長/原田岳志)

おやのちから 親野智可等氏による「目から鱗の子育てと家庭教育」~研修大会を終えて~



12月14日(土)、くになびメッセ国際会議場にて、令和6年度島根県PTA連合会家庭教育委員会・松江市PTA連合会合同研修会を開催いたしました。

教育評論家の親野智可様を講師に招いて「叱らなくても子どもは伸びる! 親子関係がよくなり学力も上がるとっておきの方法とは?」と題して講演をいただき、400名のみなさまにご参加いただきました。

当日は親野先生の温かい口調から語られる教育論に参加者は共感の連続で、「自分の子育てが認められた気がして自信と勇気が湧いた。」や「子育ての新しい価値観がインストールできて自分自身を見つめ直すきっかけにもなった。」など、多くの感想が聞かれました。

また、オープニングでは八雲中学校吹奏楽部の生徒さんに演奏していただき、素晴らしい音楽で会場に華を添えていただきました。お忙しい中当研修大会にご参加いただきました各単位PTAのみなさま、八雲中学校吹奏楽部のみなさま、研修委員一同心より御礼申し上げます。(研修委員長/大屋敦晃)



第54回日本PTA中国ブロック研修大会・山口大会に参加しました

11月2日、山口大会が開催されました。当日の大雨の影響で参加できない県もありましたが、研修大会は無事に開催されました。今回のテーマは「きずな」。家族・仲間・地域の方々、PTA会員の皆様の協力あってのものでした。中でも講師のゴルゴ松本さんが新幹線の遅延のため到着されるまでのつなぎに、各県PTA会長のトークセッションが開かれました。他県のPTA活動を知るいい機会になりました。ゴルゴ松本さんの講演は「命の授業」。時間は短かったですが言葉一つ一つに成り立ちがあり、色々な事に結びついていくのもだと感じられました。「命」母から始まりありがとうで終わる。心に打たれる思いがしました。これを気に色々な事を考え直してみようと思います。(湖北中学校/藤原奈緒美)



- 令和6年度会報委員 (85名担当) (敬称略、○は所属ブロック)
- | | | |
|--------------|------------|----------------|
| ①田中有美(法吉小) | ⑥永原 涼(宍道小) | 幹 事 鶴 健 (佐太小) |
| ②中尾かんな(附属前期) | ⑦石倉優子(古江小) | 副会長 田城敬史(附属後期) |
| ③大石絵里(湖南中) | ⑧石原秀之(八雲小) | 委員長 安達洋平(佐太小) |
| ④山根博幸(竹矢小) | ⑨島本淳子(本庄小) | |



INDEX vol. 85

●page 2~5.....PTA活動紹介「ふるさと教育」
●page 6.....市P連情報発信

記事掲載校

- | | |
|--------------|---------------|
| 1ブロック: 法吉小学校 | 2ブロック: 附属前期課程 |
| 3ブロック: 湖南中学校 | 4ブロック: 竹矢小学校 |
| 5ブロック: 宍道小学校 | 6ブロック: 古江小学校 |
| 7ブロック: 八雲小学校 | 8ブロック: 本庄小学校 |

古江小学校



附属前期課程



宍道小学校

法吉小学校



八雲小学校



竹矢小学校



湖南中学校



本庄小学校

あふれる笑顔と明日を担う力

編集後記
今年度の会報誌は「ふるさと教育」をテーマに、各ブロック代表の皆さまに地域の特色を紹介していただきました。それぞれの地区ならではの魅力や取り組みを、多くの方々に知っていただき、興味や共感を持っていただけたら幸いです。私たちが子ども達の頃、親や地域の方々から教えていただいた大切なことを、次の世代へ繋げていくこと。そして、地元の良いことや人とのつながりの温かさを、子どもたちが大人になっても心に刻んでほしいと願っています。最後に、この会報誌の作成にご協力いただいた会報委員の皆さまをはじめ、関わってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(石倉優子)

1
ブロック

法吉小学校

なかよし陶芸教室

法吉小学校なかよし学級では、毎年9月頃に地域交流活動の一環として陶芸教室が行われています。今年も1年生から6年生の12名が参加して、法吉公民館陶芸教室の方を講師にお迎えし、食器や置き物を作成しました。

固い土を一生懸命こねて柔らかくしたり、形にすることがむずかしかったり、自分がつくりたいと思っている物にする工程が大変でした。その後約3カ月かけて素焼き・色付けをして本校校地内に設置してある窯で本焼きをしました。

子ども達は地域のみなさんに指導していただきながら、色んな工程にチャレンジし、思いのこもった作品が完成しました。(田中有美)



どんなのできるかな



絵付けは楽しいな



できあがり!!

3
ブロック

湖南中学校

開校50周年記念式典～繋ぎ輝く新たな歴史～

松江市立湖南中学校は、1974年4月1日に開校し、今年で50周年を迎えました。11月9日(土)には「開校50周年記念式典」を盛大に開催しました。

式典は二部構成で、第一部は校長の式辞、祝辞、開校当時の貴重な写真を紹介するスライドショー「こなんのあゆみ」が上映され、参列者から過去を懐かしむ声が聞かれました。

第二部では、卒業生でシンガーソングライターとして活躍されている浜田真理子さんのコンサートが行われ、サクソ奏者の真理野さんと共に、心温まる演奏を披露されました。素敵な歌声とサクソの音色に体育館中が満たされ、まるで湖南中の輝かしい未来を祝福するかのようでした。貴重なひとときを心に刻み、これからさらなる50年へ向けて新たな歴史の始まりを感じさせる式典となりました。(大石絵里)



5
ブロック

宍道小学校

みんな笑顔、みんな団結、宍道っ子の野外活動

宍道小学校では毎年全校生徒で野外活動を行っています。この活動は約50年間にわたり受け継がれている伝統ある学校行事です。1～6年生で縦割りの班をつくり宍道町にある「ふるさと森林公園」に出かけます。活動では「ウォークラリー」「お弁当タイム」「ひろば班ごとの遊び」「自由遊び」と様々な活動を全校生徒で楽しみます。

また、ゲストティーチャーとして地域の方にも数名参加して頂き一緒に野外活動を楽しんでいます。この野外活動は、校区内にある施設を有効活用させていただき、一人一人の心の絆を固くすることで地域の特色を生かすことそのものであることを実感しています。これからも伝統ある活動や地域の特色を大切に、大きく成長してほしいと思います。(永原 涼)



ふるさとと教育

を紹介しめます!



2
ブロック

島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程

第5の味覚・旨味を実感!「味覚の授業」®

11月1日(金)3年生を対象に「味覚の授業」®を行いました。「味覚の授業」®とは、フランスで行われている「味覚の一週間」®という食育事業が2011年に日本でも始まったもので、味の基本の4つの味にプラスして旨味について知り、味覚を意識することで食の楽しみを学べる授業です。活動に関わる講師などのスタッフ・ボランティアの方には本校の保護者が多く関わっています。当日は、3年生の保護者も子ども達と一緒に授業に参加しました。

基本の4つの味は全て県内産の食材を持ってきていただき、塩味は藻塩、酸味はゆず酢、苦味が抹茶、甘味はハチミツで味覚の変化を体験しました。その後は昆布だし・鰹だし・昆布と鰹の合わせだし・松江特産のしじみだしの4種類で旨味の味比べをすることで、味覚の深さを感じ取っていました。ふるさと島根の食材を眺めたり、臭いをかいだり、食べたりし、味覚を再確認することがふるさと教育や食育につながっています。(中尾かんな)



4
ブロック

竹矢小学校

次世代を担う子ども達へ 地域と連携した交通安全教育の実践

竹矢小学校では、地域と連携し、子ども達に正しい交通ルールを身につけてもらうため、「自転車クラブ」を運営しています。このクラブは、地域の交通防犯対策協議会の協力を得て、毎年11月から練習を開始。対象は3年生から6年生で、週に2～3回の練習を重ね、7月に実技試験と学科試験を実施する本番に挑みます。

今年度は惜しくも2位となり、全国大会への出場は逃しましたが、次回は優勝をめざし、さらなる努力を続けています。子ども達が交通事故に遭わないようにすることを目的とし、地域の皆さんとともに安全意識を育む活動です。このような取組を通じて、地域全体で子ども達の成長と安全を見守っています。(山根博幸)



6
ブロック

古江小学校

田植えから稲刈りまでの学びと感動

古江小学校の5年生は、地元企業のカンドーファームさんのご協力のもと、米づくりに挑戦しました。子ども達は「バケツ苗」という方法で稲を育てましたが、うまく成長する苗もあれば、失敗する苗もあり、米づくりの難しさを実感しました。

秋には、元気に育った稲の稲刈り体験を行い、自分たちが手間ひまをかけて育てたお米を収穫する喜びを味わいました。この活動を通じて、地元の企業の方々と交流を深めるとともに、自然の恵みや地域の魅力を改めて感じる機会となりました。

子ども達にとって、この体験は「地元を愛する心」を育む大切な学びとなりました。(石倉優子)

